

【資料2】 **授業改善プラン〔小学校・国語「話すこと・聞くこと」〕**

課題への対応策1

関連する単元 6年『みんなで生きるまち』

指導のねらい

・話し手が聞き手に問いかけることによる効果や、聞き手が話し手に問いかけられることによる効果を理解し、話し方の工夫をすることができる。

授業での活用例

| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
|---|---|
| <p>学習課題 調べたことを、みんなに分かりやすく伝える話し方の工夫を考えよう。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> まず資料「多くの人が使えるように」の本文の⑤⑦段落だけを読む。次に①～⑦段落まで全てを読み、どちらがより分かりやすいかを考える。 実例をあげる、問いかけ・よびかけの文を入れると、どんな効果があるのかを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> 文末に注意して読み、問いかけやよびかけの文を見つけることができるよう助言する。 どちらが興味を引いたりわかりやすかったりする文章か、理由も発表させる。 問いかけやよびかけの効果について確認し、発表のときにも取り入れてみるよう指導する。 |

課題への対応策2

関連する単元 5年『人と「もの」との付き合い方』
6年『今、わたしは、ぼくは』

指導のねらい

・話し手が聞き手に問いかけることによる効果や、聞き手が話し手に問いかけられることによる効果を理解し、話し方の工夫をすることができる。

授業での活用例

| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
|--|---|
| <p>学習課題 聞く人がよく分かるように、話し方をくふうしよう。</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> 聞き手を意識し、より興味深く発表を聞いてもらうための評価シートを使いながら、グループの友達の発表を聞く。(練習) 評価シートをもとに、評価の低いところをどうなおしたらよいか、話し合う。 話し合ったことをもとに、発表メモをなおし、次時の発表に生かす。 | <ul style="list-style-type: none"> 評価シートの内容は、 ・話しかけるような言い方をしているか。 ・特に強調したいところをゆっくりと大きな声で話しているか。 ・適当な間をとっているか。 ・聞き手を見ながら話しているか。 ・話に関わる資料を指し示しているか。 など、 ・聞き手にアピールする話し方ができているか。を評価できるようにする。 相手に話しかけたりするような話し方を1箇所でも入れられるように支援する。 |

【資料2】 授業改善プラン〔小学校・国語 書くこと〕

課題への対応策1

関連する単元 4年『白いぼうし』, 6年『森へ』

指導のねらい

理由を明らかにし、自分の感じ方・考え方を明確に書くことができる。

授業での活用例

教材例

5年
「千年の釘にいどむ」

- ・考えたことを支える理由が明確に書かれているか。
- ・理由を表す文体で書かれているか。

学習の流れ

- ①本文を読んで、全体について感じたことや考えたことをメモしておく。
- ②本文を読み返して、心に残ったところを抜き出す。
- ③②について理由を明確にしなが、自分の体験や知っていることと比べ、考えたことをメモする。
- ④メモしたこと同士につながりはないかを考え、中心をはっきりさせて、文章にまとめる。

課題への対応策2

関連する単元 5年『ニュース番組作りの現場から』

指導のねらい

考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理することができる。

授業での活用例

教材例

6年
「平和のとりでを築く」
「自分の考えを発信しよう」

- 小カード記入のポイント
- ・小見出しを付ける。
 - ・箇条書きにする。
 - ・色分けをすると見やすい。

学習の流れ

- ①「平和のとりでを築く」を読んで感じたことをもとに平和について話し合い、課題を作る。
- ②課題をもとに仮の要旨を書く。
- ③仮の要旨が説得力を持つように、具体例や同じ考えの資料などを集める。
- ④調査したことを小カードに記入し、友達と交流する。
- ⑤材料をもとに、要旨をまとめ直す。
- ⑥構成を考えながら、文章にまとめる。
- ⑦まとめたものを推敲し、発信する。

課題への対応策

関連する単元 6年『平和のとりでを築く』

指導のねらい

・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえたりして自分の考えを明確にしながら読むことができる。

授業での活用例

| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
|---|---|
| <p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 筆者が読者に最も伝えたいことは何だろう。 </div></p> <p>3 課題解決の見通しをもつ。</p> <p>4 学習場面(⑫,⑬段落)を音読する。 ・一斉読み ・一人読み ・指名読み</p> <div style="background-color: #fce4ec; padding: 5px;"> <p>5 ⑫⑬段落にある筆者の伝えたいことを読み取る。 ・最も伝えたいことは⑫,⑬段落のどちらに表れているかを判断する。 ・⑬段落にある筆者の伝えたいことを読み取る。 ○ 伝えたいことが強く表れている部分にサイドラインを引く。 ○ サイドラインを引いた箇所を発表する。 ○ 筆者の伝えたいことを60字以上、80字以内でまとめる。</p> </div> <p>6 課題のまとめをする。 ○各自でまとめたことを発表しあう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 原爆ドームは、それを見る世界の人々の心の中に、核兵器禁止、戦争を許さないという強い気持ちをもたせるための世界の遺産なのだ。 </div></p> <p>7 次時の学習内容を知る。</p> | <p>・「原爆ドーム」が世界遺産になった経緯を確認する。 ・前時までに学習した「原爆ドーム」の保存を願う人々の広がりを確認し、世界の人々の願いの強さによって決定されたこと、それに対する筆者の思いに伴って言い方も変化していることを、掲示を使って想起させる。 ・何を手がかりにすれば、訴えたいことが見つかるか見通しをもつ。</p> <p>・読みの視点(文末表現やキーワードは何か)を確認する。 ・指名読みの際には、再度読みの視点を確認し、訴えたいことがどこに書いてあるか考えながら読むことを意識づける。 ・⑬段落には、「平和のとりでを築く」というキーワードが入っていること、「記念碑」から「世界の遺産」へと表現が変わっていること、文末で強く言い切っていることなどから⑬段落に重点を置けばいいことを確認する。</p> <p>・発表するときに筆者がなぜその部分を伝えたいと思ったか根拠を明確にさせる。 ・「原爆ドーム」「核兵器」「世界遺産」等のキーワードを入れさせる。 ・⑬段落で最後の文が要旨であることを確認し、「平和のとりでを築く」とはどういうことをふり返りながら、まとめさせる。 ・書き込んだことをもとに意見を交流し合い、考えを深めさせる。 ・筆者の伝えたいことをもとに、平和について発信することを確認する。</p> |

【資料2】 授業改善プラン〔小学校・国語「言語事項」〕

課題への対応策

関連する単元 4年『いろいろな意味をもつ言葉』

指導のねらい

・文脈に適した多義語の意味を理解できる。

授業での活用例

| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
|---|--|
| 1 本時の学習課題をつかむ。 | |
| 学習課題 詩を読み、それぞれの「とる」がどんな意味か考えよう。 | |
| 2 「とるものなあと」クイズをする。 | ○ 楽しくクイズを考える活動から入り、「言葉って楽しいな。」「同じ音でもいろんな意味があるんだな。」という気持ちをもたせるようにしたい。 ○ いつも国語辞典を身近において、調べる習慣をつけさせたい。 |
| 3 「とる」がどんな意味か話し合う。 ・動作をしてみる。 ・他の言葉に言い換える。 ・辞書で調べる。 | |
| 4 全国学力テストの復習をする。 | |
| | ○ 国語A 7 を復習させる。 |

板書例
詩を読み、それぞれの「とる」がどんな意味か考えよう。

とる

はっけよい すもう とる 技を競う
 こんにちは ぼうし とる 外す
 てんどんの でまえ とる 注文する
 セーターの ごみを とる 取り除く
 のらねこの しゃしん とる 撮影する
 かんごふさん みやくを とる 測る
 おはなみの ばしよを とる 予約する
 コーラスの しきを とる 指揮をする
 たんじょうび としを とる 年を重ねる
 リリリリリ じゅわき とる 手にする

川崎 洋

- ※ 学習指導にあたっての留意点
- (1) 文や文章の中から多義語を取り上げ、辞書を積極的に利用して意味を調べるように指導する。
 - (2) 語感や言葉の使い方に対する感覚を高めるために、様々な読書活動や音読や暗唱などの言語活動を国語の授業の中に取り入れるようにする。

【資料2】 **授業改善プラン〔中学校・国語「書くこと」〕**

課題への対応策1

関連する単元 1年『文の成分・連文節』

指導のねらい

・書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章に推敲することができる。

授業での活用例

教材例

1年「分かりやすく書こう」
「根拠を示して書こう」
2年「意見を書こう」

学習の流れ

- 1 「書く」単元において、毎時間5分～10分程度原稿用紙の使い方・推敲の観点を知る。
- 2 修正が必要な文章を教科書を見ながら直す。
- 3 文法事項（主述の関係）の確認をする。

課題への対応策2

関連する単元 1年『さんちき』， 1年『少年の日の思い出』
3年『故郷』

指導のねらい

・文学的な文章を読んで、文章表現の特徴を読み取り、内容を理解することができる。
・特徴的な表現をとらえ、表現の効果について自分の考えを書くことができる。

授業での活用例

教材例

2年「走れメロス」

学習の流れ

- 1 特徴的な表現を見つける。
 - ・漢語表現
 - ・短文の積み重ね
 - ・つぶやき
 - ・比喩表現
 - ・誇張的表現 など
- 2 それぞれの表現の効果について話し合う。
- 3 表現の工夫の効果が伝わるように朗読する。
- 4 表現効果について自分の意見を書く。

【資料2】 授業改善プラン〔中学校・国語「読むこと」〕

課題への対応策1

関連する単元 1年『言葉のひびきを楽しもう』
『詩の心―発見の喜び』
2年『言葉のひびきを味わおう』
3年『言語感覚をみがこう』

指導のねらい

・ 比喩表現が示す内容を理解し、日常生活における事象との結びつきを考えることができる。

授業での活用例

教材例

『名づけられた葉』
(新川 和江)
『交響楽』
(谷川俊太郎)

学習の流れ

- ① 二編の詩を音読する。
- ② 『名づけられた葉』で、「葉」を別の言葉に言い換える。
- ③ 『交響楽』というタイトルの意味を考える。
- ④ 『詩の心』を参考に、詩の鑑賞文を書く。

課題への対応策2

関連する単元 1年『主題を考えよう』
2年『父のようにはなりたくない』
3年『卒業ホームラン』

指導のねらい

・ 作中人物の立場にたって、場面の様子を書き換えたり、役割演技をしたりすることを通して、その心情を理解することができる。

授業での活用例

教材例

『少年の日の思い出』
(ヘルマン・ヘッセ)

グループ学習

- ① 「僕」が「エーミール」に謝罪する場面を、「エーミール」の視点から書き換えをする。
- ② 「少年時代の回想部分」を脚本形式に書き換える。
ア 好きな場面を選ぶ。
イ 配役例…僕、僕の母親、エーミール、エーミールの家のお手伝い、蝶、その他自由

【資料2】 授業改善プラン〔中学校・国語「言語事項」〕

課題への対応策1

関連する単元 1年『漢和辞典の使い方』『漢字の部首』『漢字の成り立ち』
2年『類義語・対義語』、『漢字の意味』、『同訓異字』、『同音異義語』
3年『紛らわしい漢字』、『四字熟語・熟字訓』、『漢字いろいろ』

指導のねらい

・辞書を活用する場を設定し、語彙を広げたり、適切に用いたりすることができる。

授業での活用例

教材例

2年「言葉探検」
・同音異義語
・同訓異字

学習の流れ

- ① 文章にあてはまる言葉を考え、同音異義語、同訓異字について理解する。
- ② 国語辞典や資料集を用いて、同音異義語、同訓異字を調べ、文章を作成する。
- ③ クイズを作成し、短冊にして読みあう。

課題への対応策2

関連する単元 1年『語の意味と文脈』
3年『形が固定した言い方』、『語と語のつながり』

指導のねらい

・いろいろなものの見方、考え方にふれ、生活の中で読書に親しむことを通して、言葉を広げることができる。

授業での活用例

教材例

1年「読書の幅を広げよう」
「方言のクッション」

学習の流れ

- ① 文章を読み、感想を話し合う。
- ② 「日本語の美しいひびき」を聞き、自分たちのことばと比較する。
- ③ インターネットや図書を使って、感想や印象をまとめ、方言や日本語についてレポートにする。
 - ・ 使えそうなおもしろい方言
 - ・ いつも使っている言葉を方言(〇〇弁)に直す
 - ・ 〇〇弁の会話文
 - ・ インターネットの音声機能を用いたイントロネーションの確認